

**対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ベルモパン市ごみ収集車整備計画」
引渡式**

2019年8月29日、ベルモパンにおいて、対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ベルモパン市ごみ収集車整備計画」の引渡式が開催されました。

窪田臨時代理大使は、挨拶の中で、地域の人々に直接裨益することを目指す日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、同市役所への新しいごみ収集車の供与が実現したことを喜ぶとともに、我が国として草の根事業、JICA事業、さらには IDB 日本基金事業等も活用して廃棄物処理という課題に取り組むベリーズを支援していくと述べました。また本件協力が、ベルモパン市民の生活の質の向上に貢献することを期待するとともに、当地に大使館を開設したことを契機に両国のより一層の連携を強化したいと強調しました。

ベルモパン市は既存の圧縮型ごみ収集車 1 台を中心とした機材で約3000世帯にも及ぶ市全体のごみ収集に対応していましたが、収集不十分で街中に溢れたごみは市民生活や衛生的な生活環境にも悪影響を与えていました。

このような状況を改善するため、今般、我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力で供与された87, 539米ドルで、同市役所は1台のごみ収集車を購入することができました。この供与によって、ベルモパン市市民の皆様がより良い衛生的な環境で生活を送れるようになることが期待されています。

同引渡式には、カリッド・ベライル市長、ルイス・ウィリス副市長、他市役所関係者、報道関係者、JICA 関係者など約30名が出席しました。

被供与団体のカリッド・ベライル市長は、新たな圧縮型ごみ収集車の寄贈を得たことは「Garden City」を掲げる同市にとって大きな前進であるとして、日本政府及び日本国民に対する深い感謝の意を述べました。



窪田臨時代理大使によるスピーチ



日本政府に対する謝意を述べるベライル市長



供与車両の前で行われたテープ・カット



供与されたごみ収集車